

## 自動車盗難等の発生状況等について

### 1 自動車盗難等の防止に関する官民合同プロジェクトチームの概要

「国際組織犯罪等対策に係る今後の取組みについて」（平成 13 年 8 月 29 日国際組織犯罪等対策推進本部決定）に基づき、自動車の盗難及び盗難自動車の不正輸出を防止するための総合的な対策について検討するため、「自動車盗難等の防止に関する官民合同プロジェクトチーム」を設置し、「自動車盗難等防止行動計画」（平成 14 年 1 月策定、令和 4 年 12 月改定）に基づき、イモビライザ等の盗難防止機器の普及促進、自動車の使用者に対する防犯指導、広報啓発等に取り組んでいます。

- ※ 「自動車盗難等の防止に関する官民合同プロジェクトチーム」構成団体  
警察庁、財務省、経済産業省、国土交通省、一般社団法人日本損害保険協会、  
一般社団法人日本自動車工業会、全国共済農業協同組合連合会、  
一般社団法人全国警備業協会、公益財団法人全国防犯協会連合会、  
一般社団法人全国レンタカー協会、一般社団法人全日検、  
一般社団法人全日本駐車協会、一般社団法人日本貨物検数協会、  
日本自動車車体整備協同組合連合会、  
一般社団法人日本自動車整備振興会連合会、  
一般社団法人日本自動車販売協会連合会、日本自動車輸入組合、  
一般社団法人日本自動車連盟、日本中古車輸出業協同組合、  
一般社団法人日本中古自動車販売協会連合会、  
公益社団法人日本防犯設備協会、一般社団法人日本損害保険代理業協会、  
一般社団法人日本オートオークション協議会

### 2 自動車盗難の情勢

自動車盗難はピーク時に比べると減少していますが、特定の地域では依然として多発しており、次のような特徴が見られます。

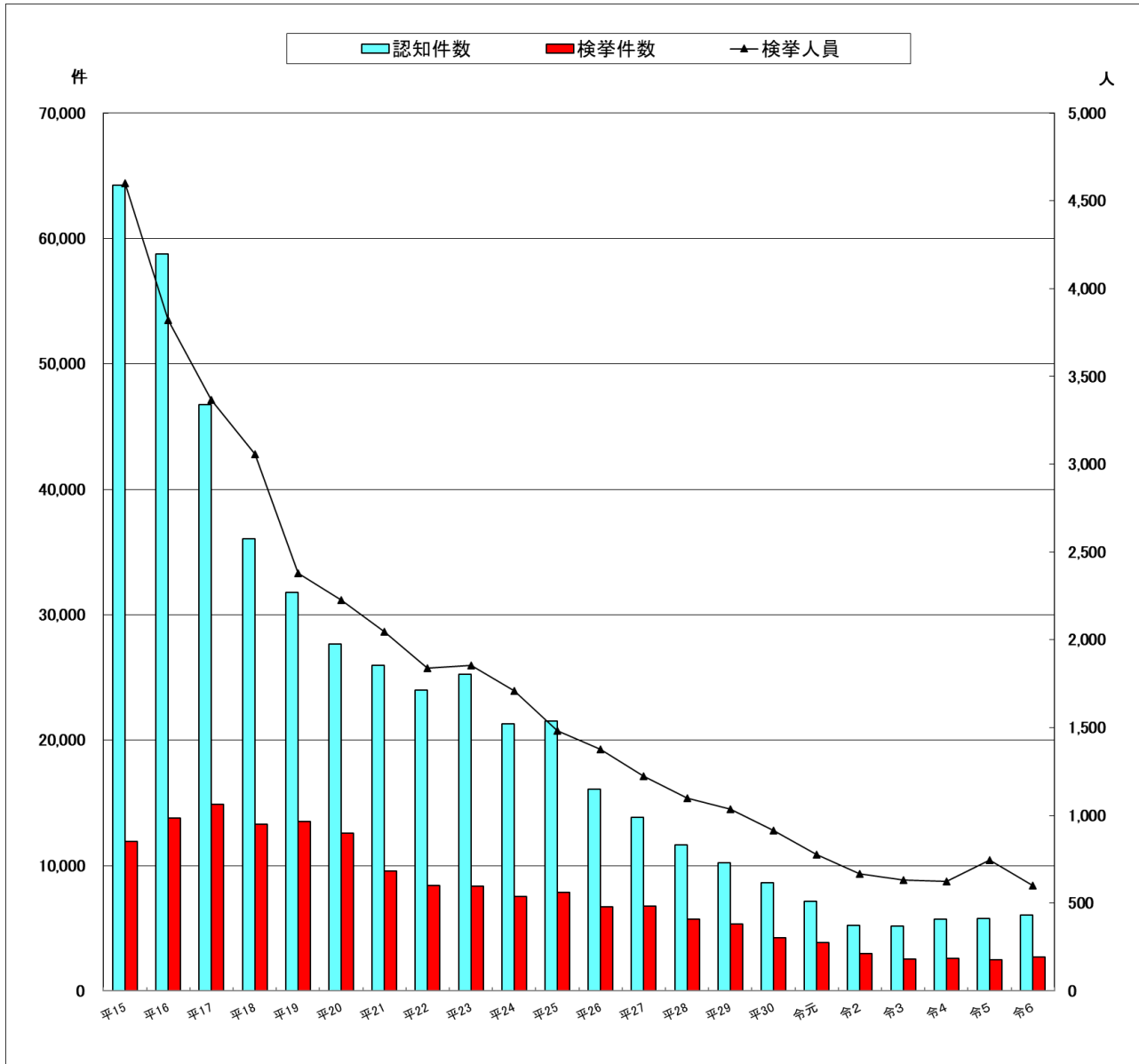
- キーなし（盗難時にキーを抜いていた等）の割合が高い  
盗難被害に遭った自動車の概ね 4 台に 3 台がキーなしの状態被害に遭っています。
- カーナビやナンバープレートも被害  
自動車本体だけでなく、カーナビやナンバープレートが盗まれる被害も発生しています。

### 3 自動車盗難の実態

- 犯罪組織が犯行に関与  
犯罪組織が自動車盗難に関与している場合があります。
- ヤード等で不正に解体  
犯罪グループにより盗まれた車両は、ヤードに運ばれ、不正に解体されているものがあります。  
※ヤード  
警察では、周囲を鉄壁等で囲まれた作業所等であって、海外への輸出等を目的として、自動車等の解体、コンテナ詰め等の作業に使用していると認められる施設をヤードと呼んでいます。
- 海外へ不正に輸出  
盗難被害に遭った自動車は、解体されて中古部品として海外に不正に輸出されているものがあり、実際に海外において日本で盗難被害に遭った自動車の部品等が多数発見されています。
- 他の車両と合体させて販売・流通  
解体した盗難自動車を他の車両と合体させて真正な車両として不正に登録を受け、販売・流通させる例があります。
- 犯罪組織の資金源  
盗んだ自動車やカーナビ等を販売して利益を上げるなど、犯罪組織の資金源となっている場合があります。
- 盗んだナンバープレートを他の犯罪に利用  
警察の捜査を逃れるため、盗んだナンバープレートを別の車両に取り付け、他の犯罪に使用する場合があります。

#### 4 自動車盗の認知・検挙件数・検挙人員の推移

自動車盗の認知件数は、平成15年（6万4,223件）のピーク時から大幅に減少しており、令和6年は6,080件とピーク時から1割以下にまで減少しています。検挙件数については、平成17年（1万4,898件）以降、減少傾向にあります。一方、検挙率については、令和6年は44.1パーセントになっており、約4割が検挙されています。



	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4	令5	令6
認知件数	64,223	58,737	46,728	36,058	31,790	27,668	25,960	23,970	25,238	21,319	21,529	16,104	13,821	11,655	10,213	8,628	7,143	5,210	5,182	5,734	5,762	6,080
増減数(前年比)	1,550	-5,486	-12,009	-10,670	-4,268	-4,122	-1,708	-1,990	1,268	-3,919	210	-5,425	-2,283	-2,166	-1,442	-1,585	-1,485	-1,933	-28	552	28	318
増減率(前年比)	2.4	-9.3	-25.7	-29.6	-13.4	-14.9	-6.6	-8.3	5.0	-18.4	1.0	-33.7	-16.5	-18.6	-14.1	-18.4	-20.8	-37.1	-0.5	9.6	0.5	5.2
検挙件数	11,931	13,765	14,898	13,288	13,507	12,569	9,557	8,433	8,377	7,556	7,857	6,689	6,755	5,713	5,357	4,248	3,845	3,006	2,556	2,612	2,462	2,683
検挙人員	4,599	3,823	3,366	3,056	2,380	2,228	2,045	1,837	1,856	1,708	1,484	1,375	1,224	1,100	1,034	914	778	666	634	625	745	600
検挙率	18.6	23.4	31.9	36.9	42.5	45.4	36.8	35.2	33.2	35.4	36.5	41.5	48.9	49.0	52.5	49.2	53.8	57.7	49.3	45.6	42.7	44.1

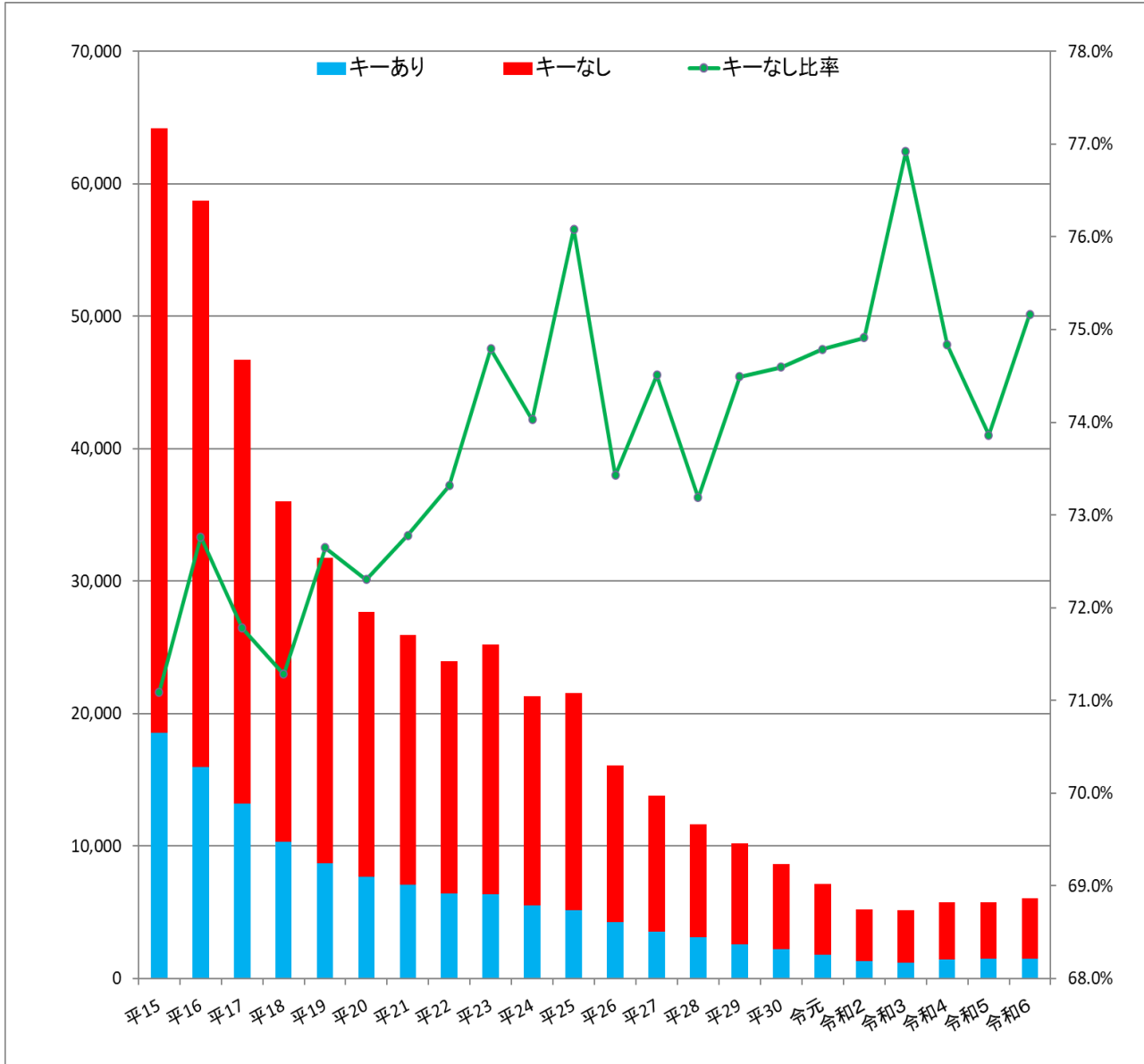
## 5 自動車盗の都道府県別認知・検挙件数・検挙人員

自動車盗の都道府県別認知件数を見ますと、認知件数の上位5県（愛知県、埼玉県、千葉県、茨城県、神奈川県）で全体の56.8パーセントを占めています。

都道府県	認知件数				検挙件数				検挙人員				
	令和6年	令和5年	増減		令和6年	令和5年	増減		令和6年	令和5年	増減		
			件数	%			件数	%			人員	%	
総数	6,080	5,762	318	5.5%	2,683	2,462	221	9.0%	600	745	-145	-19.5%	
北海道	93	84	9	10.7%	79	56	23	41.1%	28	33	-5	-15.2%	
東北	青森	17	15	2	13.3%	18	16	2	12.5%	11	5	6	120.0%
	岩手	15	11	4	36.4%	9	8	1	12.5%	5	5	-	0.0%
	宮城	32	125	-93	-74.4%	17	102	-85	-83.3%	11	14	-3	-21.4%
	秋田	5	7	-2	-28.6%	2	7	-5	-71.4%	2	6	-4	-66.7%
	山形	5	12	-7	-58.3%	4	6	-2	-33.3%	4	6	-2	-33.3%
	福島	104	111	-7	-6.3%	22	28	-6	-21.4%	5	9	-4	-44.4%
東京	223	190	33	17.4%	135	111	24	21.6%	43	46	-3	-6.5%	
関東	茨城	567	615	-48	-7.8%	416	242	174	71.9%	25	25	-	0.0%
	栃木	318	245	73	29.8%	71	50	21	42.0%	7	3	4	133.3%
	群馬	274	191	83	43.5%	28	44	-16	-36.4%	9	14	-5	-35.7%
	埼玉	781	683	98	14.3%	524	146	378	258.9%	29	68	-39	-57.4%
	千葉	706	746	-40	-5.4%	331	190	141	74.2%	34	27	7	25.9%
	神奈川	536	461	75	16.3%	186	228	-42	-18.4%	13	21	-8	-38.1%
	新潟	34	33	1	3.0%	19	17	2	11.8%	9	12	-3	-25.0%
	山梨	48	31	17	54.8%	17	6	11	183.3%	5	3	2	66.7%
	長野	58	65	-7	-10.8%	19	58	-39	-67.2%	7	4	3	75.0%
静岡	79	58	21	36.2%	31	55	-24	-43.6%	22	10	12	120.0%	
中部	富山	16	17	-1	-5.9%	12	11	1	9.1%	7	1	6	600.0%
	石川	11	13	-2	-15.4%	9	9	-	0.0%	2	7	-5	-71.4%
	福井	4	7	-3	-42.9%	3	5	-2	-40.0%	3	3	-	0.0%
	岐阜	127	109	18	16.5%	66	51	15	29.4%	17	11	6	54.5%
	愛知	866	698	168	24.1%	169	166	3	1.8%	55	61	-6	-9.8%
	三重	76	113	-37	-32.7%	38	119	-81	-68.1%	7	10	-3	-30.0%
近畿	滋賀	56	39	17	43.6%	17	54	-37	-68.5%	15	21	-6	-28.6%
	京都	50	51	-1	-2.0%	15	47	-32	-68.1%	13	16	-3	-18.8%
	大阪	417	447	-30	-6.7%	96	100	-4	-4.0%	48	77	-29	-37.7%
	兵庫	150	124	26	21.0%	58	133	-75	-56.4%	29	57	-28	-49.1%
	奈良	36	45	-9	-20.0%	23	55	-32	-58.2%	13	11	2	18.2%
	和歌山	9	22	-13	-59.1%	3	37	-34	-91.9%	2	12	-10	-83.3%
中国	鳥取	7	9	-2	-22.2%	5	8	-3	-37.5%	3	1	2	200.0%
	島根	3	3	-	0.0%	4	1	3	300.0%	3	1	2	200.0%
	岡山	51	46	5	10.9%	21	39	-18	-46.2%	8	20	-12	-60.0%
	広島	18	39	-21	-53.8%	28	15	13	86.7%	5	6	-1	-16.7%
	山口	18	12	6	50.0%	15	13	2	15.4%	14	9	5	55.6%
四国	徳島	9	17	-8	-47.1%	5	9	-4	-44.4%	2	2	-	0.0%
	香川	7	15	-8	-53.3%	5	17	-12	-70.6%	3	9	-6	-66.7%
	愛媛	18	21	-3	-14.3%	16	17	-1	-5.9%	7	6	1	16.7%
	高知	11	7	4	57.1%	9	11	-2	-18.2%	4	6	-2	-33.3%
九州	福岡	63	90	-27	-30.0%	30	74	-44	-59.5%	16	25	-9	-36.0%
	佐賀	20	11	9	81.8%	10	14	-4	-28.6%	3	9	-6	-66.7%
	長崎	8	10	-2	-20.0%	2	2	-	0.0%	1	2	-1	-50.0%
	熊本	20	16	4	25.0%	15	16	-1	-6.3%	9	16	-7	-43.8%
	大分	10	11	-1	-9.1%	11	9	2	22.2%	9	9	-	0.0%
	宮崎	9	10	-1	-10.0%	7	5	2	40.0%	4	1	3	300.0%
	鹿児島	37	18	19	105.6%	27	12	15	125.0%	12	10	2	20.0%
沖縄	58	59	-1	-1.7%	36	43	-7	-16.3%	17	15	2	13.3%	

## 6 自動車盗の認知件数（キーあり・キーなし）の推移

自動車盗に占める、キーなしの比率は、平成15年以降、70パーセント台で推移しており、令和6年は全体の75.2パーセントと、概ね4台に3台がキーなしの状態被害に遭っています。



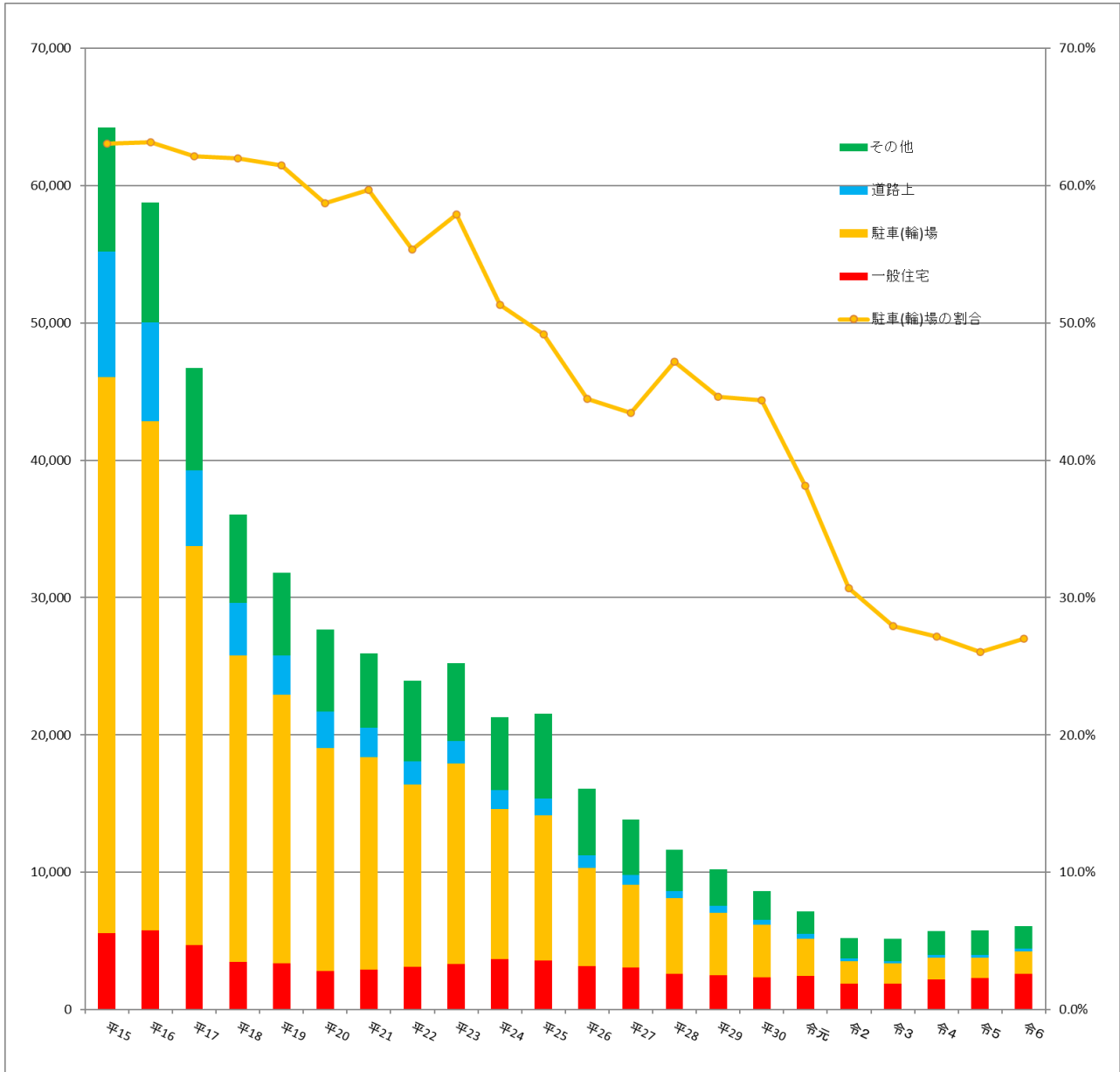
	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6
認知件数	64,223	58,737	46,728	36,058	31,790	27,668	25,960	23,970	25,238	21,319	21,529	16,104	13,821	11,655	10,213	8,628	7,143	5,210	5,182	5,734	5,762	6,080
キーあり	18,568	15,999	13,186	10,355	8,695	7,663	7,066	6,396	6,362	5,537	5,149	4,279	3,523	3,125	2,605	2,192	1,801	1,307	1,196	1,443	1,506	1,510
キーなし	45,655	42,738	33,542	25,703	23,095	20,005	18,894	17,574	18,876	15,782	16,380	11,825	10,298	8,530	7,608	6,436	5,342	3,903	3,986	4,291	4,256	4,570
キーなし比率	71.1	72.8	71.8	71.3	72.6	72.3	72.8	73.3	74.8	74.0	76.1	73.4	74.5	73.2	74.5	74.6	74.8	74.9	76.9	74.8	73.9	75.2

※ 「キーあり」とは、エンジンキーがイグニッションスイッチに差し込まれ、又は運転席若しくはその周辺に放置されていて被害に遭ったもの。

※ 「キーなし」とは、「キーあり」以外のもの。

## 7 自動車盗の駐車場所別認知件数の推移

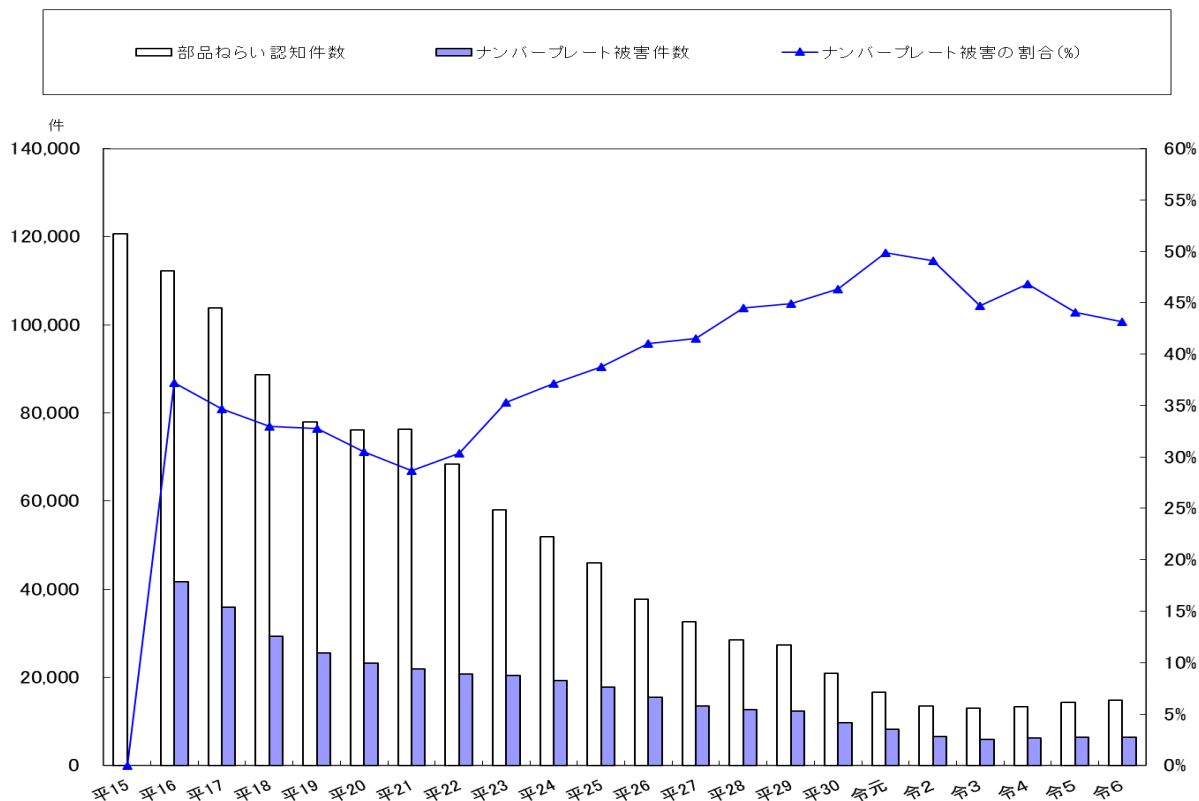
自動車盗の発生場所については、「一般住宅」が最も多く、令和6年は全体の42.9パーセントと、約4割が一般住宅において盗難被害に遭っています。また、依然として「駐車場」における発生も多く、令和6年は全体の27.0パーセントとなっています。



	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4	令5	令6
認知件数	64,223	58,737	46,728	36,058	31,790	27,668	25,960	23,970	25,238	21,319	21,529	16,104	13,821	11,655	10,213	8,628	7,143	5,210	5,182	5,734	5,762	6,080
一般住宅	5,574	5,756	4,722	3,458	3,374	2,822	2,912	3,112	3,331	3,690	3,564	3,173	3,097	2,614	2,496	2,373	2,460	1,915	1,907	2,229	2,296	2,609
駐車(輪)場	40,499	37,083	29,036	22,346	19,535	16,237	15,487	13,265	14,607	10,937	10,581	7,160	6,003	5,498	4,558	3,828	2,726	1,598	1,448	1,558	1,500	1,643
道路上	9,110	7,203	5,519	3,828	2,857	2,668	2,130	1,728	1,622	1,338	1,215	917	726	544	503	356	319	218	180	190	207	212
その他	9,040	8,695	7,451	6,426	6,024	5,941	5,431	5,865	5,678	5,354	6,169	4,854	3,995	2,999	2,656	2,071	1,638	1,479	1,647	1,757	1,759	1,616
一般住宅の割合	8.7%	9.8%	10.1%	9.6%	10.6%	10.2%	11.2%	13.0%	13.2%	17.3%	16.6%	19.7%	22.4%	22.4%	24.4%	27.5%	34.4%	36.8%	36.8%	38.9%	39.8%	42.9%
駐車(輪)場の割合	63.1%	63.1%	62.1%	62.0%	61.5%	58.7%	59.7%	55.3%	57.9%	51.3%	49.1%	44.5%	43.4%	47.2%	44.6%	44.4%	38.2%	30.7%	27.9%	27.2%	26.0%	27.0%

## 8 ナンバープレート盗難被害状況及び盗難防止ネジの活用について

車両の部品が盗難被害に遭う「部品ねらい」の認知件数は、平成14年以降、大幅に減少しています。一方で、部品ねらいに占めるナンバープレートの被害の割合は、令和6年は43.2パーセントと、依然として高い割合となっています。盗難されたナンバープレートは他の犯罪に悪用されるケースもあるため、警察では、防盜性が高い「盗難防止ネジ」の普及促進を図っています。



	平15	平16	平17	平18	平19	平20	平21	平22	平23	平24	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4	令5	令6
部品ねらい認知件数	120,726	112,161	103,772	88,739	78,016	76,109	76,342	68,375	57,981	51,828	45,981	37,797	32,600	28,403	27,353	20,966	16,585	13,453	13,047	13,301	14,310	14,724
うちナンバープレート被害件数	-	41,735	35,981	29,274	25,569	23,207	21,869	20,745	20,482	19,256	17,817	15,509	13,529	12,629	12,289	9,709	8,267	6,608	5,833	6,231	6,311	6,355
ナンバープレート被害の割合(%)	-	37.2%	34.7%	33.0%	32.8%	30.5%	28.6%	30.3%	35.3%	37.2%	38.7%	41.0%	41.5%	44.5%	44.9%	46.3%	49.8%	49.1%	44.7%	46.8%	44.1%	43.2%

※ 部品ねらいは、自動車、オートバイ、自転車等に取り付けてある部品、付属品を窃取する手口である。

※ ここでいうナンバープレートの盗難被害件数は、部品ねらいにおけるナンバープレートの被害件数であり、部品ねらい以外の手口によるナンバープレートの被害件数は含まれていない。

※ 一つの事件について3以上の品物の盗難被害があった場合、被害品数は3品目を限度として計上しているため、ナンバープレートが被害品として計上されていない場合があります。

※ 平成15年以前は、ナンバープレートの盗難被害件数の統計はない。

## 9 車名別盗難台数の状況

令和6年及び令和5年中における車名別盗難台数の状況は下記のとおりです。

メーカー	車名（通称名）	令和6年		令和5年	
		盗難台数	千台 当たり	盗難台数	千台 当たり
トヨタ	ランドクルーザー	1064	3.4	643	2.2
トヨタ	プリウス	539	0.3	428	0.2
トヨタ	アルファード	488	0.7	700	0.9
トヨタ	レクサスLX	230	23.3	261	32.7
トヨタ	ハイエース	170	0.2	187	0.2
トヨタ	レクサスRX	165	1.4	88	0.8
ダイハツ	ハイゼット	103	—	107	—
トヨタ	クラウン	101	0.1	81	0.1
スズキ	キャリイ	96	—	115	—
トヨタ	レクサスLS	76	1.0	71	0.9

※「盗難台数」とは盗難等車両手配がなされた車名が明らかな車両であり、未遂等を含まないため、犯罪統計における自動車盗難認知件数とは異なる。

※「千台当たり」とは、車名（通称名）別盗難台数を、自動車保有車両数（一般財団法人自動車検査登録情報協会統計「自動車保有車両数（各年3月末現在）」で除し、1000を乗じた数である。（軽四乗用自動車等については、自動車保有車両数にかかるデータがないことから「—」としている。）

※自動車盗難においては、新しい年式の車のほか、西暦2000年以前に製造された古い型式の車が盗まれることもあります。

※また、普通乗用自動車や軽四乗用自動車のほか、小型トラック、中型トラック、大型トラックを狙った犯行も発生しています。

## 10 自動車盗難の防止対策

### (1) 盗難による被害

- 不便になって仕事や日常生活に支障を来すことになります。
- 愛車がなくなり、ローンが残ってしまいます。
- 車両に残していたクレジットカード、運転免許証、携帯電話等は不正に使用されたり、他の犯罪に利用される可能性があります。
- 被害車両が発見されても、損傷が激しく、これまでのように使用できないことがあります。

### (2) 主な盗難の手口

- 窓の隙間から針金等を差し込んでドアを解錠し、車両に侵入する。
- ハンマー等で車のガラスを破壊し、車両に侵入する。
- 工具等を使ってドアを解錠し、ステアリングロックを破壊してエンジンを始動する。
- 車体にマグネット等で隠しているスペアキーを探し出す。
- 家に侵入し、車のキーを盗む。
- レッカー、けん引車で車を丸ごと盗む。
- 鍵を預かる施設で車の使用者になりすましてキーを受け取る。
- リレーアタックやCANインベーターと言われる、特殊な機器を使用する手口がある。
- その他、キープログラマー等の特殊な機器を用いて鍵を複製する手口もある。



### (3) 盗難防止対策

- 確実な施錠

短時間でも車から離れる時は、完全に窓を閉め、キーを抜いてハンドルロックとドアロックをしましょう。

- イモビライザの装着

盗難被害に遭わないためにも自動車にイモビライザを装着しましょう。

- 盗難防止機器の活用

センサーが衝撃・振動・音等の異常を感知し警報音を発する警報装置、ハンドル固定器具、タイヤのホイールロック、GPS追跡装置等の盗難防止機器を活用しましょう。

- その他、防犯ステッカーの貼付やセンサーライト、防犯カメラの設置など、複数の対策を組み合わせた複合的な防犯対策を講じましょう。

- 鍵の適切な保管

リレーアタックによる被害を防止するため、スマートキーは玄関先に置かず、電波を遮断できるケースに入れる等の対策をしましょう。

- 防犯設備が充実した駐車場を利用

見通しがよく、防犯カメラや照明等の防犯設備が充実し、管理された駐車場を利用しましょう。自動車盗難は、自宅の駐車場でも多く発生していますので、自宅の駐車場でもセンサーライトや防犯カメラなどの防犯機器を設置しましょう。

- 貴重品は車内に放置しない

車内に現金、カード類やカバン等の貴重品を置いたままにすると犯罪を誘発します。車から離れる時は、必ず持ち出しましょう。

- 自動車部品にも盗難防止対策

ナンバープレートやタイヤ、ホイール等の部品ねらいに注意が必要です。盗難防止ネジなどでしっかり固定するなどの対策をしましょう。

※ イモビライザとは

キーに内蔵されたトランスポンダから出される複雑な暗号（IDコード）を車両本体内のコンピュータで照合し、正規のキーと判定されないとエンジンが掛からない盗難防止装置（メーカー純正品の例。その他、市販の後付けタイプもあり。）。キー自体の機能と電子的な暗号のダブルロックで車を守るもの。